

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112)
会社名 株式会社 トーカイ
住所 福岡県北九州市若松区大字安瀬一番地
担当部門 技術部 品質・環境課
電話番号 093 - 752 - 1672
FAX番号 093 - 752 - 1231

2. 危険有害性の要約

GHS分類区分 該当しない。
その他の危険有害性 一般的な環境下では、固体状態で安定しており、物理化学的危険性、健康有害性及び環境有害性はない。

3. 組織及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物(合金)

主な成分

成分	濃度(%)	CAS番号	安衛法番号	化管法番号
鉄 [Fe]	残量	7439-89-6		
マンガン[Mn]	1.80以下	7439-96-5	550	第一種 412
銅 [Cu]	1.00以下	7440-50-8	379	
ニッケル [Ni]	0.60以下	7440-02-0	418	第一種 308
クロム [Cr]	1.00以下	7440-47-3	142	第一種 87

注) CAS: Chemical Abstracts Service(化学物質登録システム)

安衛法: 労働安全衛生法施行令第18条の2、別表9

化管法: 特定化学物質への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

成分の濃度は、上表の範囲において、製品の規格、種類により異なる。上表の成分の他に炭素、ケイ素、燐、硫黄等の微量元素を含む。

4. 応急措置

通常の状態では固体であり、一般的な環境下では応急措置が必要な事態は発生しないが、溶接、溶断、研磨等により発生した粉塵、ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、又、粉塵、ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記に示す応急処置の後、必要に応じて医師の診断又は手当を受けること。

吸入した場合 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合 直ちに流水で十分に洗い流す。
飲み込んだ場合 直ちに口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

鋼材は不燃性(固体)の状態であり、周辺の火災時にも消火器・水による消火を行っても問題ない。

適切な消火剤 火災の状況に適した消火剤を使用する。

使用してはならない消火剤 情報なし。

6. 漏出時の措置

通常の状態では固体であり、一般的な環境下では漏出することはない。

尚、鋼材の加工等により発生した粉塵、ヒュームは、下記に示す措置を実施すること。

人体に対する注意事項 適切な保護具を使用して、粉塵、ヒュームの吸入や眼への侵入を防ぐこと。

保護具及び緊急時措置 箇条8(暴露防止及び保護措置)の保護具を参照のこと。

環境に対する注意事項 切断・研磨等の加工で発生した粉塵等は、速やかに回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策 溶接、溶断、研磨等の加工を行い発生したヒューム、粉塵は、呼吸器、目、他の粘膜を刺激する場合があります、じん肺等の障害を生じる可能性がある為、適切な保護具を着用し、必要な局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項 重量物の為、転倒・転がり・荷崩れ・落下等に注意する。
鋼材の切断端面、切削屑等は、皮膚を傷つける。
アークは、火傷を起こす場合がある。

保管上の注意 低温域での急激な曲げ加工は、折損する場合がある。
水漏れ、酸・アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避ける。
急激な温度変化や、高温多湿の環境を避ける。
必要であれば、雨水浸透、錆防止のシート等、カバー・梱包を行う。

8. 暴露防止及び保護措置

通常状態では固体の為、現在のところ、暴露防止及び保護措置に該当する有用な情報はない。

但し、溶接、溶断、研磨等の加工の際は、粉塵、ヒュームの吸入、眼への侵入、皮膚への接触及び溶接アークを防護するマスク、メガネ、手袋、着衣等を使用する。

又、適切な換気対策を実施し、環境を確保する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など 銀白色の固体

臭い 金属臭

融点 1,500 ~ 1,535

比重(相対密度) 約7.8g/cm³

溶解度 水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性 一般環境下では、安定している。
 危険有害反応可能性 酸と接触すると有害なガスを発生させる可能性がある。
 避けるべき条件 多湿雰囲気(腐食発生恐れがある。)
 混触危険物質 強酸、強アルカリ
 危険有害性のある分解生成物 溶接、溶断、研磨等の加工時に発生する粉塵、ヒューム

11. 有害性情報

本製品そのものの有害性に関する情報はない。但し、加工時に発生する粉塵等に混合物が含まれる可能性があり、下記の人健康有害性がある。

危険・有害性項目	危険有害性情報	対象物質	
皮膚腐食性・刺激性	軽度の皮膚刺激	マンガン	Mn
眼に対する重篤な損傷 眼刺激性	眼刺激	クロム	Cr
		マンガン	Mn
呼吸器感作性	吸入するとアレルギー、喘息、又は呼吸困難を起こす恐れ	クロム ニッケル	Cr Ni
生殖細胞変異原性	アレルギー-性皮膚反応を引き起こす恐れ	クロム ニッケル	Cr Ni
発がん性	遺伝性疾患の恐れ疑い	クロム	Cr
生殖毒性	発がんの恐れ疑い	ニッケル	Ni
特定標的臓器 全身毒性 (単回暴露)	生殖能又は胎児への悪影響の恐れ	マンガン	Mn
	呼吸器、腎臓の障害	ニッケル	Ni
	呼吸器の障害	マンガン	Mn
	全身毒性障害の恐れ	クロム	Cr
	呼吸器への刺激の恐れ	クロム 銅	Cr Cu
特定標的臓器 全身毒性 (反復暴露)	長期又は反復暴露による神経系、呼吸器の障害	マンガン	Mn
	長期又は反復暴露による肝臓の障害	銅	Cu
	長期又は反復暴露による呼吸器の障害	ニッケル	Ni

12. 環境影響情報

本製品そのものの環境影響についての情報はない。但し、加工時に発生する粉塵等に混合物が含まれる可能性があり、下記の環境に対する有害性がある。

危険・有害性項目	危険有害性情報	対象物質	
水性環境慢性有害性	長期的影響により有害の恐れ	マンガン 銅 ニッケル	Mn Cu Ni

13. 廃棄上の注意

鉄スクラップとしてリサイクルする等、廃掃法、関係条例に従い、環境に配慮した適切な方法で処理すること。(鉄以外の廃棄物と分離すること等)

14. 輸送上の注意

危険有害物質としての注意事項はない。又、輸送に関する国際規制対象物質ではない。
重量物であり、荷崩れしないようにする。
雨水等の浸透を防ぐため、シート等でカバーすることが望ましい。

15. 適用法令

労働安全衛生法
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

16. その他の情報

本製品安全データシートは、JIS Z 7253:2012に準拠して作成されています。製品の安全な取扱いを確保する為の「参考情報」として、作成時点の当社が有する情報を提供するもので、製品及び製品情報の正確さ・安全性を保障するものではありません。

取扱い作業には、これらを参考に、自らの責任において適切な処理が必要となります。
本データシートに記載されていない、当社が知見を有しない危険性がある可能性があります。